記 録

明治6年から昭和54年の東京都における公園開設
状況と都市計画との関連について

末 松 四 郎*

City Planning and Establishment of Parks in Tokyo, 1873—1979

Shiro SUEMATSU

1. まず初めに明治6年度から昭和54年度までの各年度における公園の開設箇所数と面積とを表—1に示した。中途で廃止となった公園もあるので(注—1)各年度の差が直ちに新設量となる訳ではない。備考には開設又は廃止となった著名な公園名をあげてある。

(1) 都立公園・市町立公園は現時点では、都の海上公園(29箇所, 83.4ヘクタール)を際いて都市公園である。

(2) 児童遊園は自治法による設置・管理がなされている点で都市公園と異なるが、規模が小さく、権原的に不安定な場合が多い。なお、児童福祉施設となっているものが昭和53年度で116箇所5.4ヘクタール所在している。(内数として)

(3) 準公園は国で設置・管理している公園、ならびに公団・公社で設置・管理している公園である。

(4) 「公園」の行政上の位置づけについては明治6年から明治21—23年の地方制度が定められるまでは国の直轄の施設であり、それ以降昭和22年地方自治法が施行されるまでは国の営造物であって、機関委任事務として行政庁が管理・運営したものとされる場合が多い(注—2)。都市公園法施行後は、地方団体の営造物(昭和39年自治法改正後は「公の施設」)として論議の余地はないが、地方自治法施行後の期間についても地方団体の営造物とすることの方が実体にあっている。

なお、太政官布達による公園についてはその実体からその初期には「自然公物」的な色彩がある(注—3)。

(5) 図—1は表—1のほぼ10年毎の値をグラフに示し、経年的な傾向をみたものである。人口は一部推定によったところもある。

2. 次に公園地盤の所有別の概況を表—2に示した。

国有地については普通財産の無償借受、行政財産の許可使用に分かれる。後者については河川敷の占用許可によるもの(昭和43年時点で173ヘクタール)が大半であって、特殊な例としては小石川後楽園(7.08ヘクタール)中6.0ヘクタールが文部省の行政財産)がある。さらに公有地の素因別内訳を表—3に示す。なお民有地については、ほとんどが無償使用であり、「その他」は、首都高速道路公園・日本道路公団・日本国有鉄道からの無償借受である。

3. 上記の諸公園は、市区改正設計以降、大半が、都市計画を事業化する形で整備されてきている。都市計画公園緑地が統一的に決定されたのは昭和32年12月21日告示建設省第1689号によってであり、それまでは表—4に示すような諸計画が併存していた(注—4)。

表—5は前記各計画の構成を示したものであり、表—6は各計画の実現度と、事業化を要しない要素の比率を示したものである(注—5)。

4. 図—2は昭和53年度末時点の都市公園の配置を示し、図—3は同じく都市計画公園の配置図であり、図—4は表示各時点の計画公園緑地の配置図である。

注—1 大正14年から昭和39年にかけて18公園計22.44ヘクタールが廃止されている。最大のものは浅草公園であって廃止当時(昭和26年10月13日)11.47ヘクタールであった。なお、上記の数字には部分的な廃止は含まれていない。

注—2 内務省・建設省を通じての見解は、太政官布達・市区改正条例・都市計画法によって建設された公園は国の営造物であるということであり(山下 武「公園と公園用地の諸問題」都市問題4—5), 都市公園法解説においても上記公

* 東京都駒沢オリンピック公園管理事務所

園中地盤国有のものは国の営造物であるとしている（桧垣五郎「都市公園法解説」昭和32年）。また明治39年の「公園の設置，変更，廃止ノ場合ノ許可不要ノ件」の発令以降地方団体の営造物となったという見方もある（太田謙吉「公園及公園事業の体系・行政的考察」造園雑誌4—1）。法理上は，都市計画法によって建設された公園は国の営造物とすることは十分可能であるが，地方自治法施行後，都市公園法施行までの間—この期間では都市計画法は改正されていない—については設置行為は団体事務としてなされているものと考えてのが妥当であると思う。

注—3 この点①土地に対する権原を失っても公園は存続したこと，②社寺本来の活動は制限されていなかったこと。③公園地の一部が財源地として保留していたこと等があげられる。

注—4 表4に示すように計画が重複している場合もある。すなわち昭和21年の戦災復興計画は緑地中心の連続性を強調したものであったので，既存の市区改正設計・震災復興計画の一部を包含した形となっている。このことは同計画が戦後の混乱期に急いで決定されたこと，また防空法による疎開跡地を重視せられたことにもよるものと思われる。

注—5 事業化を要しない計画は，昭和32年の再検討で意識的に編入されたもので，このことによって事業費と行政的な混乱の軽減を図ったものである（この点山田正雄「時の流れ・都市の流れ」文献29参照）見方によれば，緑地保全関係法規が今日のように整備せられていなかった当時において，都市計画法（旧法）第11条の2を活用することによって緑地の保全を図ったともいえよう。

（1981.8.28受付，1981.9.5受理）

図—1 東京都における公園の整備状況の推移

表一 東京都管内都市公園等逐年度整備状況

内訳 年度	都 立		区・市 立		区市児童遊園		準 公 園		計		主な新設、廃止公園
	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	
M 6	5	132.1	—	—	—	—	1	16.1	7	148.2	上野、芝、深川、浅草、飛鳥山、小石川植物園
14	6	135.1	—	—	—	—	1	16.1	8	151.2	麹町
19	7	136.7	—	—	—	—	1	16.1	8	152.8	愛宕
22	9	138.3	—	—	—	—	1	16.1	10	154.1	坂本町、新月島
23	10	139.2	—	—	—	—	1	16.1	11	155.3	湯島
24	11	139.4	—	—	—	—	1	16.1	12	155.5	白山
29	11	139.4	1	10.0	—	—	1	16.1	13	165.5	富士森（八王子）
36	12	155.9	1	10.0	—	—	1	16.1	14	182.0	日比谷
41	13	156.1	1	10.0	—	—	1	16.1	15	182.2	
45	14	156.4	1	10.0	—	—	1	16.1	16	182.5	宮本
T 2	15	156.7	1	10.0	—	—	1	16.1	17	182.8	乃木
3	18	157.7	1	10.0	—	—	1	16.1	20	183.8	数寄屋橋、虎ノ門、今戸(旧)、台場
4	20	158.3	1	10.0	—	—	1	16.1	22	184.4	
6	22	187.8	1	10.0	—	—	1	16.1	24	213.9	井の頭恩賜、待乳山
8	25	190.7	1	10.0	—	—	1	16.1	27	216.8	千鳥ヶ淵、江戸川、鍋島松涛
9	25	190.7	1	10.0	—	—	2	86.3	28	287.0	神宮内苑（準公園）
11	25	190.7	1	10.0	1	0.1	2	86.3	29	287.1	
12	26	190.8	1	10.0	1	0.1	2	86.3	30	287.2	
13	27	195.7	1	10.0	1	0.1	2	86.3	31	292.1	旧芝離宮恩賜
14	27	195.7	1	10.0	2	0.1	2	86.3	32	292.1	向島百花園 廃止：浅草橋
15	32	197.5	1	10.0	2	0.1	3	113.6	38	321.2	柳北、新花等震災復興公園、月島第二、神宮外苑（準公園）
S 2	37	208.0	1	10.0	2	0.1	3	113.6	43	332.6	外濠
3	43	216.4	1	10.0	2	0.1	3	113.6	49	340.1	錦糸、大塚
4	52	225.1	1	10.0	2	0.1	3	113.6	58	348.8	浜町、東盛等震災復興公園
5	83	253.8	1	10.0	2	0.1	3	113.6	89	377.5	緑町、石浜等震災復興公園、横網町
6	92	257.8	1	10.0	2	0.1	3	113.6	98	381.5	隅田、錦華等震災復興公園
7	98	270.3	1	10.0	2	0.1	3	113.6	104	394.0	清澄
8	105	273.4	1	10.0	2	0.1	3	113.6	111	397.1	碑文谷
9	111	285.0	1	10.0	2	0.1	3	113.6	117	408.7	中野杉山

内訳 年度	都 立		区・市立		区市児童遊園		準公園		計		主な新設、廃止公園
	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	
10	124	291.1	1	10.0	2	0.1	3	113.6	130	414.8	戸越、氷川
11	132	299.2	1	10.0	2	0.1	3	113.6	138	422.9	宝来
12	146	329.3	1	10.0	3	0.2	3	113.6	153	453.1	狭山、世田谷丸山
13	147	337.5	1	10.0	3	0.2	3	113.6	154	461.3	後楽園、芦花、武蔵関
14	155	345.8	1	10.0	3	0.2	3	113.6	162	469.6	小豆沢、西永福
15	166	349.2	1	10.0	3	0.2	3	113.6	173	473.0	世田谷城趾
16	174	352.1	1	10.0	3	0.2	3	113.6	181	475.9	高橋是清記念、行船
17	182	354.5	1	10.0	3	0.2	3	113.6	189	478.3	五間堀、小泉
18	190	356.8	1	10.0	3	0.2	3	113.6	197	480.6	白銀、代々木大山
19	195	360.2	1	10.0	3	0.2	3	113.6	202	484.0	高円寺
20	195	360.2	1	10.0	3	0.2	3	113.6	202	484.0	青戸
21	198	391.6	1	10.0	3	0.2	3	113.6	205	515.4	浜離宮、哲学堂
22	202	397.0	1	10.0	3	0.2	3	113.6	209	520.8	廃止：愛宕山、湯島
23	202	397.0	1	10.0	5	0.4	3	113.6	211	521.0	福生（福生市）
24	208	402.2	2	11.1	34	1.8	5	191.8	249	606.9	西巣鴨、東板橋、昭和（昭島市）、新宿御苑（準公園）、白金自然教育園（準公園）
25	58	423.3	158	74.5	101	6.8	6	287.4	323	791.9	荒川遊園、徳殿、皇居外苑（準公園） 廃止：大手町
26	57	423.3	162	84.3	168	10.5	6	287.4	393	805.5	本門寺、渋谷、永山（青梅市） 廃止：浅草
27	62	412.1	180	98.4	200	12.4	6	287.4	448	810.3	大井水神、西戸山
28	38	406.4	237	118.0	230	14.2	6	287.4	511	826.0	多摩川台、宮下、見次 廃止：虎ノ門
29	39	406.6	237	118.0	261	15.8	6	287.4	543	827.8	戸山、小金井、立川（立川市）
30	41	412.4	245	147.7	279	16.7	6	287.4	571	864.2	前野、高稲荷、府中々央（府中市）
31	46	427.4	260	147.7	299	17.6	11	288.5	616	881.2	玉川野毛、旧古河庭園、羽根木
32	48	468.1	260	147.7	313	19.2	18	290.3	639	925.3	砧、城北中央、砧緑地、神代
33	49	473.5	261	149.7	359	20.7	26	292.5	695	936.4	武蔵関、多摩動物公園
34	50	481.4	291	159.1	413	22.4	38	296.3	792	959.2	石神井、多摩川六郷橋緑地、世田谷
35	52	392.4	337	158.3	673	40.2	45	298.9	1,067	912.1	西落合、名主の滝
36	57	516.8	311	118.5	692	41.1	45	298.9	1,105	975.3	善福寺、新江戸川
37	57	516.8	335	172.9	732	42.8	50	300.9	1,174	1,033.4	多摩川かえ橋緑地、中野上高田
38	64	466.4	403	202.6	754	41.7	53	321.6	1,274	1,032.3	荻中、妙正寺、荒川戸田橋
39	74	496.8	420	211.1	749	41.3	53	321.6	1,296	1,070.7	明治、洗足、善福寺緑地、和田堀、武蔵野、駒沢オリンピック、東調布、多摩川緑地

内訳 年度	都 立		区・市立		区市児童遊園		準 公 園		計		主な新設・廃止公園
	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	箇所数	ha	
S 40	46	505.2	455	267.2	749	41.3	45	316.2	1,295	1,129.9	水元, 桧町
41	46	505.4	504	286.2	947	51.4	37	317.8	1,530	1,160.8	東綾瀬
42	45	509.1	553	308.7	1,050	62.4	37	317.8	1,685	1,198.0	代々木, 篠崎, 大蔵運動, 尾竹橋
43	55	575.2	622	356.1	1,156	70.7	37	305.4	1,870	1,306.7	新宿中央, 桐ヶ丘中央, 荒川江北橋 緑地, 保木間, 小岩緑地
44	59	585.0	714	410.8	1,273	77.4	43	328.5	2,089	1,401.8	おとめ山, 甘泉園, 元淵江
45	65	657.3	788	446.6	1,408	88.4	43	329.3	2,304	1,521.4	青山, 平和島, 多摩川二子橋緑地, 町田中央(町田市)
46	73	766.4	881	495.5	1,575	105.0	128	382.9	2,657	1,749.7	中根
47	74	810.4	1,008	594.6	1,737	118.6	152	398.9	2,971	1,922.6	落合中央, 小松川運動, 東砂1丁目
48	75	862.9	1,110	665.1	1,888	129.1	168	419.3	3,241	2,076.4	隅田川緑道, 東向島北
49	75	901.5	1,226	708.9	2,057	164.0	174	423.1	3,532	2,197.4	13号地, 赤塚, 大泉
50	43	658.4	1,409	1,042.6	2,258	164.2	176	430.0	3,886	2,295.2	北区中央, 薬師池(町田市), 東村山 (東村山市)
51	56	686.8	1,527	1,103.8	2,425	176.3	154	428.7	4,161	2,395.6	牡丹町
52	60	706.9	1,796	1,216.2	2,438	171.0	157	430.1	4,451	2,524.7	天養
53	60	710.2	1,971	1,269.3	2,539	184.9	190	440.0	4,760	2,604.3	夢の島, 多摩川田園調布緑地
54	74	805.2	2,314	1,341.7	2,475	178.4	210	457.3	5,073	2,782.6	殿ヶ谷戸

* 島嶼を除く。

* 資料 東京市役所(昭和13年): 東市公園墓地関係法規集附録

東京都建設局(1961): 公園事業概要

東京都都市計画局(昭和26~30, 34~54): 公園調査

* 本表の「都立」は正確には、昭和18年以降の概念であって、それ以前は府立~市立という経過をへている。

表-2 公園地盤の所有別面積(ha)

公園	所有	国 有 地	公 有 地	民 有 地	そ の 他	計	備 考
都 立 公 園		103.90 (12.9)	696.91 (86.6)	4.37 (0.5)	—	805.18 (100.0)	
区 立 公 園		386.67 (43.3)	493.57 (55.3)	7.65 (0.9)	4.27 (0.5)	892.16 (100.0)	
市町立公園*		123.39 (27.4)	294.11 (65.4)	26.33 (5.9)	5.74 (1.3)	449.57 (100.0)	
小 計		613.96 (28.6)	1,484.59 (69.2)	38.35 (1.7)	10.01 (0.5)	2,146.91 (100.0)	
区立児童遊園		8.38 (8.4)	69.14 (69.5)	20.05 (20.1)	2.04 (2.0)	99.61 (100.0)	
市町立 “ *		5.39 (6.8)	23.44 (29.8)	47.63 (60.5)	2.29 (2.9)	78.75 (100.0)	
小 計		13.77 (7.5)	92.58 (52.0)	67.68 (38.0)	4.33 (2.5)	178.36 (100.0)	
計		627.73 (27.0)	1,577.17 (67.8)	106.03 (4.6)	14.34 (0.6)	2,325.27 (100.0)	

* 昭和54年度版公園調査による昭和54年4月1日現在の値。()内の数値は%。

* 島嶼を除く。

表－3 公有地の素因別内訳

昭 54. 4. 1 現在

	面 積(ha)	素 因		面 積(ha)	備 考
寄 付	219.0 (13.9)	皇室よりの下賜		126.3	主として、日本公園百年史付表による。
		一般寄付		92.7	
区画整理等	384.0 (24.3)	震災復興区画整理		14.6	帝都復興区画整理史第 1 編
		戦災復興 “		33.3	東京都都市計画局資料による。
		都市改造事業		2.1	
		行政庁施行	東京都	33.8	
			八王子市	5.5	
		組合施行		143.6	
		区市町（団体）施行		87.0	
		住宅公団施行		64.1	
そ の 他	974.2 (61.8)	一部の交換を除いて、殆んど買収			
計	1,577.2 (100.0)				

＊ 昭和54年 4 月 1 日現在

＊ () 内の数値は%

表－5 各計画の公園・緑地箇所数と面積 (ha)

内 訳 計画の別	大 公 園		小 公 園		小 計		緑 地		計	
	箇所数	面 積	箇所数	面 積	箇所数	面 積	箇所数	面 積	箇所数	面 積
①市区改正設計(新)	6	190.05	16	30.13	22	220.18	—	—	22	220.18
②震災復興計画	3	20.13	52	15.38	55	35.51	—	—	55	35.51
③, ④防空緑地計画	—	—	122	279.27	122	279.27	27	1,428.67	149	1,707.94
⑤戦災復興計画	3	62.04	20	74.40	23	136.44	34	3,207.31	57	3,343.75
⑥東京特別都市計画	28	1,435.45	41	197.40	69	1,632.85	19	127.92	88	1,760.77
⑦再 検 討 計 画	75	2,674.86	356	237.35	431	2,912.21	14	3,174.98	445	6,087.19
現 状 (昭55.4.1現在)	83	2,293.35	870	391.01	953	2,684.36	20	2,948.35	973	5,632.71

＊ 計画の名称はいずれも略称である。正式名称は表 4 参照。

＊ 数量、面積は防空緑地計画を除いては、いずれもその当初告示による。防空緑地計画はマスタープランを別に定め、それを逐次決定して行った経過があるので、最終段階の数字を記載した。

＊ 市区改正設計については、公園に大・小の別は無いが、本表では便宜的に太政官布達にかかる公園ならびに日比谷公園を大公園として扱った。

表一 4 昭和32年「再検討」までの公園、緑地計画の告示による区分

* 府：東京府告示 市：東京市告示 内：内務省告示

* 戦復：戦災復興院告示 建：建設省告示

* ()内は計画の通称

* ⑦は、特別都市計画法廃止にともなう読みかえ告示である。

表一6 各計画における事業決定面積と河川・社寺面積ならびに実現面積 (ha)

計 画 の 別	計画面積	事業決定面積	計画に対し百分率	河川・社寺等面積	計画に対し百分率	実 現 面積	計画に対し百分率	備 考
①市区改正設計 (新 設 計)	220.18	—	—	推定 (106.—)	48.—	251.79	114.4	実現面積は大正9年1月現在
②震災復興公園	35.51	35.51	100.—	—	—	43.38	122.2	実現面積は、復興事業終了時点
③、④防空緑地計画	1,707.94	1,020.88	59.77	—	—	401.03	23.48	実現面積は、53.4.1都市計画調書による国営公園等を含む。
⑤戦災復興計画	3,343.75	1.71	—	46.80	14.0	545.78	16.3	同上
⑥、⑦特別都市計画	1,760.77	319.56	18.15	81.50	4.4	551.73	29.6	同上
⑧再 検 討 計 画	3,148.20	270.47	0.09	2,166.11	31.4	1,562.45	22.7	同上

* 計画面積は、防空緑地計画を除いては当初告示面積。

* 河川社寺等面積には、鉄道軌条、縦貫街路等も算入してある。戦災復興計画、特別都市計画については指定図(1/10,000)より計測、再検討計画については、昭和40年首都整備后資料による。

* 市区改正設計における社寺面積は、告示文に記載あるものの他、その後の改廃告示から推定したものであって、およその見積りに過ぎない。恐らく過小であると思う。

* 再検討の告示は表一4のようにそれまでの告示を統一したものであるので、実現面積は、それ以前のものとは重複する。

* 事業決定面積は、震災復興計画—当初告示

防空緑地計画—当初告示から昭20.3.24内務71号までの累計。

戦災復興計画—昭24.5.10建設省425号による。

特別都市計画—表1—⑦を含む。すなわち、昭25.4.15建設省201号から昭32.11.25建設省1,483号までの累計。

再検討計画—昭32.12.21現在で有効な面積。

図一2 都市公園配置図（昭和54年現在）

図一3 都市計画公園緑地配置図（昭和54年）

図一4 東京都における計画公園の配置状況の推移